

3

町田さんは、六年生の一年間の目標を作文にまとめるために下書きをしました。読み返してみると、書き直したほうがよいと思ったところが見つかりました。書き直したほうがよいと思った理由と、どのように書き直したほうがよいかを説明したものととして、ふさわしいものをあとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

※文のはじめにある数字は、その文の番号を示しています。

【書き直したほうがよいと思ったところ】

① わたしは、六年生として学校のためになるような仕事や活動に積極的に取り組もうと思った。② しかし、具体的にどんなことをしたらよいのかなやんでしまった。③ そこで、先生に相談すると、
「あなたの好きなことが、学校のためにつながるとよいですね。」
と、話してくださったので、花が好きなどころを生かせばよいと気づいたので、花いっぱいの子供らしい学校にしようと思った。

- 1 ②の文には、「だれが」という主語がぬけているから、主語となる「先生」を書き足したほうがよい。
- 2 ③の文は、「ので」が続いて長くなり、分かりにくいから、一文を分けて書いたほうがよい。
- 3 ③の文の「」の部分は、先生が話した言葉だから、〈話してくださった〉まで「」に入れたほうがよい。
- 4 ①から③までの文は、述語が「した」になっているから、「です」や「ます」も使ったほうがよい。